

百歳賀寿 末永く お元気で

常葉町小檜山の白岩ウメノさんが、4月25日に満百歳を迎えられました。

県から県知事賀寿と記念品、市から賀寿と祝金が贈られました。また、田村市社会福祉協議会、田村市老人クラブ連合会、常葉町老人クラブ連合会、小檜山老人クラブから祝金、子ども・孫・曾孫・玄孫の代表の方からそれぞれ花束や誕生日ケーキなどが贈られました。

ウメノさんは、にこやかに賀寿などを受けられました。長寿の秘訣は「山のものや自分で作ったものを食べ、世の中の何事にも関心を持つこと。」だそうです。



地域で支え合い 支え合う地域づくり協議体委員・生活支援コーディネーターに委嘱状交付

4月26日、支え合う地域づくり協議体委員と生活支援コーディネーターに委嘱状が交付されました。協議体は、地域住民や各種団体の方々から委員となって、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めるために、今やっていることやあったらいいなと思うことなどの話し合いを行います。

生活支援コーディネーターは、地域の様々な活動をつなげ組み合わせる調整役として、協議体と協力し地域で支え合う体制づくりを推進していきます。



山火事防止 パレードで山火事防止を呼びかけ

4月19日、市山火事防止パレードが行われました。市総合体育館で行われた出発式では、本田市長が「今回の山火事防止パレードで多くの市民に予防消防を周知していただくとともに、今後とも貴重な森林の保全と火災のない安心な街づくりにご尽力をくださるようお願いする」とあいさつしました。

出発式終了後、市消防団、消防署、警察署、森林管理署、森林組合、県中農林事務所が、市広報車を先頭に注意を呼びかけました。



地域協議会 木質バイオマス発電事業地域協議会が発足

4月26日、大越行政局で「木質バイオマス発電事業地域協議会」が開催されました。

この協議会は、大越町で行われる木質バイオマス発電事業において、住民の皆さんが安心して生活できるよう広く意見を聞き入れるため、地域住民の代表者と市、発電事業者である(株)田村バイオマスエナジー社で組織されました。

当日は発電施設の概要や安全管理対策などに多くの意見が出され、今後も安全管理対策や放射線量の検査及び公表方法などを話し合い、住民の皆さんに安心していただけるよう協議していきます。

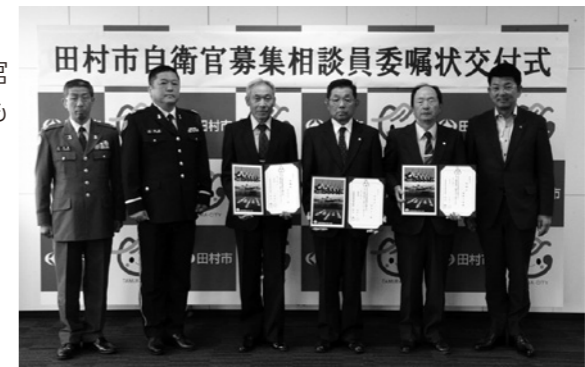


自衛官募集相談員委嘱状交付式 自衛隊入隊希望者をサポート

自衛官募集相談員の委嘱状交付式が、5月9日に市役所で行われました。

田村市では5人の相談員が委嘱され、自衛官募集の協力活動として、自衛隊の広報官とともに入隊希望者に説明や勧誘などを行います。任期は、今年度から2年間です。

委嘱されたのは次の方々です。(敬称略)
渡辺 貞一 (大越町)、橋本 利重 (都路町)、
浦山 正一 (常葉町)、鹿股 正博 (船引町)、
國分 良二 (船引町)



叙勲 柳沼清一さんが旭日単光章を受章

大越町の柳沼清一さんが、地方自治の振興と発展に貢献した功績が認められ、高齢者叙勲「旭日単光章」を受章されました。

柳沼さんは、平成3年4月から12年間、大越町議会議員を務め、総務常任委員会委員長などを歴任されました。

4月23日、市役所で伝達式が行われ、県中地方振興局の小柴局長から勲章と勲記が手渡され、本田市長が立ち会いました。

おめでとうございます！



▲柳沼清一さん (写真中央)

瀬川のたのたウォーク 春と瀬川産の蕎麦を満喫

4月14日、船引町瀬川地区で瀬川地区区長会・やってみっ会主催のウォーキングイベント「瀬川のたのたウォーク」が開催されました。約80人の参加者は4キロのウォーキングで、道中のこいのぼりや日差しに春の訪れを感じながら心地よい汗を流しました。

ウォーキング後は瀬川産のそば粉を使った美味しいお蕎麦を味わいました。



寄贈 ヒマワリの種 500袋を寄贈いただきました

4月26日、ヒマワリの種を通した復興支援「福島ひまわり里親プロジェクト」を展開する福島市のNPO法人チームふくしまからヒマワリの種500袋を寄贈いただきました。同プロジェクトは、全国から届いたヒマワリの種を県内各地で咲かせ、絆づくりや観光PRにつなげる活動を続けています。チームふくしまの半田理事長が本田市長にヒマワリの種を手渡しました。事務局の清野氏、同法人応援団で牧野ひまわり会の佐久間会長が同席しました。

